

公共政策における新潮流：デジタルトランスフォーメーション（DX）とオープンな政策形成



経営情報学科

松岡 清志

● 連絡先

E-Mail : matsukiyo@u-shizuoka-ken.ac.jp

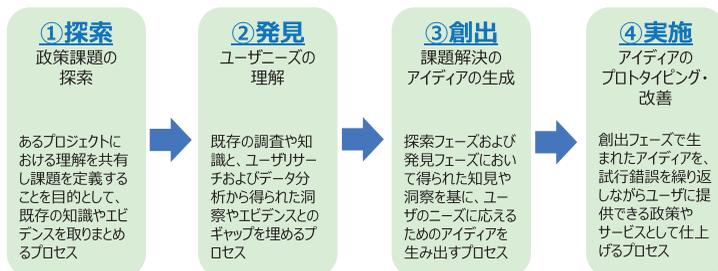
キーワード デジタルトランスフォーメーション（DX）、ICT、データ活用、デザイン思考、公共政策、行政サービス、業務改革、ユーザ中心、協働



少子高齢化、国際化をはじめとする社会構造の変化に伴い、国民/住民のニーズは複雑化、多様化し、政府および自治体はこれらのニーズに適時適切に応えることがこれまで以上に求められるようになっていきます。一方で、労働人口の減少および財政難に伴い、「担い手」としての公務員数を増やすことは困難になりつつあります。このような状況において、デジタル技術を活用して業務の効率化および行政サービスの質を向上させるデジタルトランスフォーメーション（DX）の必要性が高まり、先行的な取組が行われているところです。

デジタルトランスフォーメーションは、単純に現在の業務のITへの置き換えに留まりません。真に必要なデジタル（Digital）技術を見極め、関連するデータ（Data）を適切に使い、国民/住民に加え職員をも含むユーザのニーズを中心に据え、政策およびサービスを創出するデザイン（Design）思考を適用する、3つの「D」の視点が重要です。この3つの「D」の組み合わせによるデジタルトランスフォーメーションをオープンな政策形成プロセスを通じて実現する方策について、具体的な事例と理論との橋渡しを常に心がけて研究しています。

オープンな政策形成における4つのフェーズ



（出典）英国政府ウェブサイトGOV.UK内、Open Policy Making Toolkitを基に作成

経営情報学部

アピールポイント

国、自治体におけるデジタルトランスフォーメーションに関する政策動向や事例に関する知見、および先進的な取組推進の中心人物とのネットワークを有しています。